

令和3年度 公開講座（短期課程）

担当科名	機械システム系メカトロニクス科
担当者名	山口俊憲
コース名	中小企業のための生産改善・革新セミナー (6)生産改善のDX（からくり・ロボット・IoT化） ～簡単・便利ツールを使った改善～
実施日時	① 令和3年10月27日（水） 18:00～21:00
	② 令和3年11月4日（木） 18:00～21:00
	③ 令和3年11月10日（水） 18:00～21:00
	④ 令和3年11月17日（水） 18:00～21:00
	⑤ 令和3年11月24日（水） 18:00～21:00（計15時間）
募集定員	6人（申込者多数の場合最大10名程度まで）
募集対象	対象職種：不問（事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能）
	受講に必要なレベル：不問（受講生の状況・希望に応じて内容を調整）
注意点	中小企業のための生産改善・革新セミナー(1)～(7)は企業などの現場改善を行う同一講師が全て担当しています。(1)～(7)の全てを受講することで、ものづくり改善に必要な知識を体系的に習得できますが、各講座を単独で受講しても理解できるような工夫をしています。例年、一つの講座を受講される方、全て受講される方、数年かけて全てを受講される方がいらっしゃいます。また、このセミナーは社会人を対象とした1年課程の「産業技術専攻科ものづくり改善コース」と一部連携しています。現場の課題解決に具体的に組みたい方は <u>産業技術専攻科の活用</u> もご検討ください。
講座内容	人口減少社会において、より少ない人員でより効率的で付加価値の高いものづくりが求められています。人員が減ると各員に求められる技術もより広範囲になる可能性があります。そのような状況下において、求められる技術的なスキルがそれほど高なくても活用できる様々な技術が出てきています。 本講座では、技術習得の時間が少なくても十分活用できる最近のからくり装置（機構学ではなく、機構“楽”）、ロボット、IoTなどについて学び、現場においてどのように活用するかについての検討を行います。
目標	発話や文書でのコミュニケーションが円滑になること。
履修項目	①変化・変動するもの作り現場の現状とこれから ②インダストリー4.0、IoT、ICTの製造現場での活用 ③現場を楽に、そして楽しくするからくり（機構“楽”）装置 ④ちょっと手伝ってもらおうロボット・自動化 ⑤超簡単・活用IoT ⑥現場における活用の検討
使用装置ソフト・図書等	特になし
受講費用	受講料：6,900円（15時間コース）
	自己負担： 円（テキスト： 円・材料費： 円）

	報 償 費	円	印刷製本費	円	材 料 費	円
講座費用	費用弁償	円	消耗品費	円	通信運搬費	円
	普通旅費	円	使用賃借料	円		
そ の 他	<p>○ この講座に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門課程での単位互換はない。 ・ この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「からくり活用改善実習」の受講を一部免除する。 <p>○ 講師と講座について</p> <p>本セミナーの担当講師は大学・大学院で経営工学を専攻し、その後約 20 年、生産など様々な現場の改善に取り組んできています。また、このセミナーは社会環境の変化や講師が生産改善に取り組んだ成果などにに基づき数年に一度大きな変更を加えながら 10 年以上開講し、延べ 700 名近い方が受講しています。</p> <p>○ 新型コロナ対策について</p> <p>基本的に対面での実施を予定しておりますが、状況に応じて遠隔などで実施することがございます。</p> <p>*例年、定員を超える申し込みを頂いているため、最大受け入れ人数を 10 名とした。</p>					